

第3回(仮称)彦根総合運動公園
第1種陸上競技場建築検討懇話会
資料

平成28年7月29日

目次

1 懇話会のスケジュール

- (1) 懇話会のスケジュールについて
- (2) 第3回建築検討懇話会における検討項目

2 これまでの建築検討懇話会の意見

- (1) 第1回懇話会での検討項目
- (2) 第2回懇話会での検討項目

3 基本設計条件(案)に反映すべき事項

- (1) 基本設計条件(案)に反映すべき事項
- (2) 今後のスケジュール

1 懇話会のスケジュール

(1) 懇話会のスケジュールについて

	テーマ
第1回	施設整備の課題整理
第2回	景観等に配慮した競技場整備の方向性について
第3回	今回の検討事項 基本設計条件(案)に反映すべき事項について

(2) 第3回建築検討懇話会における検討項目

- ・ 第1回および第2回建築検討懇話会の意見を踏まえた基本設計条件（案）に反映すべき事項

- ① 屋根の架設範囲・照明設備について
- ② 色彩について
- ③ 自然素材の活用、歴史的景観の再現等その他外観について

2 これまでの建築検討懇話会の意見

(1) 第1回懇話会における検討項目

公園整備基本計画における課題確認

景観への配慮	<p>・彦根城の世界遺産登録に向けた取り組みにも配慮しながら、景観や眺望への負荷軽減を図る必要がある。</p>
	<p>・公園整備にあたっては、本基本計画において設定したデザイン基調に沿い、公園一帯を樹木で覆うとともに、建物の形状やデザイン、色彩などについて検討が必要。</p>
	<p>・高さを抑制するための検討が必要となる一方で、スタンド屋根の高さを抑制することなどにより、必要な照度等を確保するための照明柱の設置が必要となると、逆に周囲の景観への負担が想定されることから、法規制を含め彦根市と協議を進めつつ総合的に検討が必要。</p>

【第1回建築検討懇話会における主な意見】

●事務局説明

- ・競技場のコンセプトとして、**できるだけ目立たないコンパクトで景観とマッチする陸上競技場**を目指し、現状の歴史遺産と調和するデザインとしたい。

●委員の意見

- ・周辺地域の景観に配慮し、**競技場の高さを抑える、照明柱を建てない、競技場の周辺を樹木で囲む**等の対応が必要。
- ・周辺住宅地の生活環境に配慮し、**競技場の位置を西側住宅地から極力離すことが望ましい。**
- ・**自然素材の使用**が望ましい。その際には、**地域の木材**の使用や、船板塀や彦根城の石積みなど、**地域に根ざした工法**を使うことも重要。

(2) 第2回懇話会における検討項目

① 屋根の架設範囲・照明設備について

- ・ 彦根城天守など高所からの景観では、屋根の面積やフィールドの色、座席がどれくらい見えるかの影響が大きいことから、屋根の架設範囲は小さい方が良いとは言えない。
- ・ 将来的に座席が老朽化等により美観が損なわれることを考慮すると、バックスタンド全面に屋根を架設することで隠すことも考えられる。
- ・ 野球場の既存照明柱より大型の照明柱がそびえ立つことは、周辺地域への影響が大きいので、施設内に照明設備を取り込める形状が良い。
- ・ 遠景、中景からの景観において彦根城天守に照明柱が重なるので、照明柱は無い方が良い。
- ・ 競技場全周に屋根を架設することも含めて検討されると良い。
- ・ 彦根城の歴史的、文化的な景観に配慮した建築計画が必要となるほか、競技場西側に近接する住宅地への光害に配慮が必要であることから、景観への影響を抑え、光害の抑制が可能となるスタンド両側とも屋根架設、屋根先照明が適当。

② 色彩について

- ・ 赤青茶といった色相よりも明度や彩度が重要であり、彩度が高いと目立ち、また、白のような明度の高い色は目立つ。明度や彩度をどこまで落とせるかが課題。
- ・ 自然な色を活かした整備が望ましい。自然界に存在しない色はよくない。
- ・ 計画地は、彦根市景観計画における彦根城周辺の重点地域の隣接地域であり、姿を消し周囲の景観と調和する色を選択することが望ましい。具体的には、屋根は、いぶし瓦の色彩である淡いグレー、外壁は、淡いグレーか淡い茶系が望ましい。座席は、彦根城から見下ろした景観への配慮が必要であり、高彩度でない色が適している。彩度は6以下とし、自然界の彩度と同等の色が望ましい。
- ・ 第3種陸上競技場と第1種陸上競技場の色が異なると、見下ろした際に違和感を生じるので統一すべき。
- ・ 明度や彩度を落とし自然に近づけた色や、城をサポートする色が良い。屋根は、白にした場合、周辺の景観に合わない。膜構造の屋根は着色が難しいので、金属系の屋根で景観に配慮した色を採用することがよい。設計者のクリエイティビティを尊重するためにも、最初から色を決めない方が良い。
- ・ 地域の色を取り込むことで、周辺の景観に馴染む。

③ 自然素材の活用、歴史的景観の再現等その他外観について

- ・ 彦根城との連続性を考慮して整備すべき。
- ・ 自然素材は、擬石や擬木などの作り物ではなく本物を使用すること。
- ・ 西側住宅地から公園内の人が見えないように競技場と住宅地との間に土盛りで壁を作るべき。
- ・ 建築と公園のランドスケープを整合させることが重要。

3 基本設計条件(案)に反映すべき事項

(1) 基本設計条件(案)に反映すべき事項

建築検討懇話会の意見

- ①彦根城をはじめとする歴史的な景観と調和する競技場
 - ・競技場の高さを抑える。
 - ・競技場の周辺を樹木で囲む
 - ・施設内に照明設備を取り込める形状が良い。
 - ・景観への影響を抑えるスタンド両側とも屋根架設、屋根先照明が適当。
 - ・彦根城との連続性を考慮して整備すべき。
- ②彦根城天守からの景観に配慮した屋根の架設範囲
 - ・屋根の架設範囲は小さい方が良いとは言えない。
- ③照明柱を持たない照明設備
 - ・照明柱は無い方が良い。
- ④周辺住宅地への光害に対する配慮
 - ・競技場の位置を西側住宅地から極力離すことが望ましい。
 - ・光害の抑制が可能となるスタンド両側とも屋根先照明が適当。
- ⑤明度や彩度を下げた色
 - ・色相よりも明度や彩度が重要
 - ・姿を消し周囲の景観と調和する色を選択することが望ましい。
- ⑥自然に近い色
 - ・自然な色を活かした整備が望ましい。
 - ・自然界の彩度と同等の色が望ましい。
- ⑦彦根城を尊重した色
 - ・明度や彩度を落とし自然に近づけた色や、城をサポートする色が良い。
- ⑧自然素材、本物の素材
 - ・自然素材は、擬石や擬木などの作り物ではなく本物を使用すること。

これらの懇話会の意見を基本設計条件（案）に反映。

(2) 今後のスケジュール

公園整備スケジュール

